11月の予定

月主題 月のねがい

2025年9月25日
野毛山幼稚園

今月の聖句

神は愛です。

ヨハネの手紙一4章16節

主題	年少ばら組	年中くるみ・年長すずらん組
神さま ありがとう (年少) 気づく (年中長)	庭の木々やまわりの自然からの秋の深まりを感じ、秋の収穫を神さまに感謝する 友達とイメージを共有し、絵本やお話の世界を楽しむ 自然物を見つけたり触れたりしながら、遊びの中に生かそうとする	実りをくださった神様に感謝し、収穫物をともに分かちあい食する喜びを感じる。自然の変化から神さまのなさることの素晴らしさを体感する 友だちと気持ちが通じあう経験も、折りあいをつける経験も重ねながら、友だちと関わって過ごすことをより楽しむようになる 色づいた葉や木の実から季節の移り変わりによる自然の変化に気づく。そして、実際に見て触れ、製作やごっこ遊び等に生かす

今月の聖書の箇所はヨハネが教会のメンバーにあてた手紙の中に書かれています。ヨハネはどうしたらみんなが仲良くできて、どんな時にも、どんなことにもゆるがない教会ができるかと考えていました。そして、土台をしっかりとしておくことが大切であると気づいたのです。

神さまは愛です。

「愛」とは日本語では一つで、英語では「LOVE」ですが、新約聖書が書かれているギリシャ語には、愛を表す言葉が4つあります。

美しい者、価値のあるものへの愛「エロース」

友情、友愛を示す愛「フィリア」

親が子を愛する愛「ストルゲー」

そして「アガペー」の愛…神さまの愛

自分にとって価値あるもの愛するのは当たり前のことでしょう。けれども、神さまの愛は、相手の価値を問わず、対象によって引き起こされるものでなく、神さまからあふれ出る無償の愛です。それがアガペーの愛です。神さまは私たちを愛して下さるアガペーの愛のしるしとしてイエスさまをくださいました。イエスさまはだれも滅びないように、十字架にかかって死んでくださいました。私たち人間は大好きな人のためだったら、何でもしてあげたいと思いますし、私たちに親切にしてくれる人には親切にできますが、どんな人にも分け隔てなく親切にするということは難しいことです。

けれども、そんな私たちにイエスさまは言われます。

「お互いに認め合い、仲間になれるように」と。

予 定

日	曜	予 定	備 考
1	土	令和8年度(2026年度)入園願書受付	
3	月	文化の日	休園
4	火	ガーデンパーティー	
5	水	11月誕生会	11時30分降園
12	水	感謝祭礼拝(年少ばら組・年中くるみ組)	保護者 9時 礼拝堂
13	木	感謝祭礼拝(年長すずらん組)	
25	火	アドベント礼拝 《第1》	園児同士
26	水	アドベント礼拝 《第1》 クリスマス親子工作	全学年保護者 9時集合

年 少(ばら組)	年 中(くるみ組)	年 長(すずらん組)
楽しく歌ったり、楽器遊びをしたりする。	思い切りからだを動かして遊ぶ。	相手の意見を取り入れながら遊ぶ。
簡単なルールのある遊びを楽しむ。	みんな一緒にの楽しさを知る。	自分の意見を相手にわかるように伝える。
友だちと一緒に楽しむ。	身近な自然に触れ、季節の移り変わりをを感じる。	役割を持ってさまざまな活動に取り組む。
身近な自然に触れ、季節の移り変わりをを感じる。	自然の恵みに感謝する。	秋の自然に触れ、変化の美しさや不思議さに気づき、そこにある神さまの力を知る。
わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちのために働いてくださっている方々を知り、ありがとうの気持ちを持つ。	わたしたちの周りには、私たちのために働いてくださっている方がたくさんいることを知る。
何かしてもらった時はありがとうと言える。	ありがとうが心から言える。	感謝の気持ちを持つ。
感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心からささげる。	感謝祭の礼拝を心から行う。
たくさんの本や紙芝居に親しむ。	絵本やお話を読んで、喜んだり、関心を持ったりする。	神さまからの最大の贈り物イエスさまのお誕生をどのように迎えるかを考える。
クリスマスはどんな日かを知る。	たくさんの本や紙芝居に親しむ。	アドベントを迎えるためにどうするか考える。
クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	クリスマスの準備を少しずつ始める。	楽しく歌ったり、踊ったりする。
	クリスマスの本を見たり歌を歌ったりする。	たくさん本に親しむ。